



川中島町 まちづくり計画

〈令和2年度～令和6年度〉



川中島町住民自治協議会

人口減少社会を見据え「住み良いまち川中島」をめざして

川中島町住民自治協議会（以下「住自協」）は、平成 19 年に設置され現在に至っております。もとより当地区は、1998 年に開催された長野冬季オリンピック大会の選手村（現今井ニュータウン）を抱え、大会期間中は多くの住民がボランティア活動に参加するなどして住民参加の気運も高く、長野市の進める「都市内分権」の趣旨に賛同する中で積極的な住自協活動を展開してまいりました。

活動のテーマを「ふれあい・ささえあい・みとめあい」とし、地区住民の誰もが横のつながりを大切にしながら不断の取り組みを重ねております。

長野冬季オリンピックの賑わいを継承する「川中島フェスティバル」の経年開催をはじめ、多くのボランティア（部会）活動が脈々と行われており、住民自らが考え行動する機運が、長年のうちに構築されてまいりました。

平成 29 年には、住自協自らが町公民館の指定管理者となりました。これにより、住民自治と教育文化を名実共に担うこととなり、川中島町住民自治協議会は、新たなステージへと移行する段階を迎えたと申せます。

それらの経過を踏まえ、住自協といたしましては「人口減少社会を見据えたまちづくり」を基本方針に据えた「まちづくり計画」の策定に着手いたしました。

川中島町は、名産の「川中島白桃」を栽培する豊かな農地がある一方、長野冬季五輪を契機に発達した社会インフラを魅力とした住空間とが適切に共存する理想的な立地の上にあり、そして、かねてより「第一次・第二次地域福祉計画」の推進による「福祉のまち川中島」を標榜してまいりました。そのような町の魅力を最大限に活かし、そのうえで、全国的に伸張する人口減少社会を見据え、今を生きる私たちのみならず、まちの将来を担う世代の方々にとっても「住み良いまち」となれるよう、組織の見直しと効率化を行い、従来の取り組みを踏まえたうえで、新たな形で住民自治組織を構築していくこととなりました。

新体制においては、総務部会・防災部会・社会福祉部会・地域振興部会・防犯安全部会・環境部会・教育文化部会・広報部が設置され、今後は、分野ごとに策定された活動計画を推進し、川中島町を持続可能で誰もが安心して暮らせる住み良いまちにするため、住民が一体となって取り組む体制を整えてまいります。

今後も、あらゆる機会を通じて「まちづくり計画」の周知に努め、さまざまな世代の方々の多様性に応え、「川中島町のみんなが参加して住み良い楽しいまちづくり」を提案し、具体化を図ってゆく所存ですので、皆様の深いご理解と温かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、3 年の長きに亘り、委員として検討に携わっていただいた多くの方々に、御礼と感謝を申し上げます。

川中島町住民自治協議会
会長 白澤孝行

もくじ

人口減少社会を見据え「住み良いまち川中島」をめざして 川中島町住民自治協議会長 白澤孝行・3

第1章 計画策定にあたって	5
1 川中島町まちづくり計画策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画策定の経緯	
4 計画の期間	
5 計画の推進体制	
第2章 目標・施策・事業	7
総務部会 住民参加の協働によるまちづくり・7	
地域の個性を活かしたまちづくり計画の推進	
防災部会 災害時の減災体制構築・8	
防災に対する意識高揚と対応力の強化	
社会福祉部会 誰もが、自分らしくいきいきと生きるために支えあうまち・9	
1 ふれいあい・つながる	
2 育てる・ささえあう	
3 知る・伝える	
4 健康づくり	
地域振興部会 地域の特性を生かしたまちづくり・15	
住民主体の地域づくり	
防犯安全部会 地域が安心・安全な生活圏として維持できるまちづくり・16	
1 地域での自主的な防犯活動を推進する	
2 交通安全対策の充実	
環境部会 豊かな自然と環境にやさしいまちづくり・17	
1 地球温暖化防止	
2 循環型社会の実現に向け	
教育文化部会 次世代を担う青少年の健全な育成と歴史文化遺産の保存・継承を図るまち・18	
1 人権尊重社会及び男女共同参画社会の実現推進	
2 家庭・学校・地域の連携による教育力向上・子ども・青少年の健全育成活動の推進	
3 次世代を担う青少年の健全な育成と歴史文化遺産の保存・継承を図るまち「かわなかじま」、 社会教育事業（成人式）スポーツの振興	
4 地域文化の継承と創造、文化活動の推進と地域づくり	
資料編Ⅰ 全地区 川中島町まちづくりアンケート調査	21
資料編Ⅱ 川中島町の現況	27
資料編Ⅲ 川中島町まちづくり計画策定委員会	28
あとがき	川中島町まちづくり計画策定委員会委員長 田原幸雄・30

第1章 計画策定にあたって

1. 川中島町まちづくり計画策定の趣旨

川中島町は、犀川と千曲川がもたらした肥沃な大地と豊かな水の恩恵を得て、長年、農業を中心に生計が営まれてきた自然豊かな地域であります。

春は桃の花が咲き、若葉が繁り、夏は水田を吹き渡る風が稲葉を揺らし、秋には近隣の山々が紅葉し、冬の寒い日には川霧が立ち昇るなど豊かな自然環境が住む人々の心を和ませる魅力ある地域です。

こうした自然環境と鉄道など交通アクセスも良かったことから昭和40年代からは宅地化が急速に進み、居住者人口は年々増えてまいりました。

また、1998年に開催された長野冬季オリンピックで今井原にオリンピック村が開設され、それに合わせ今井駅も新設されて交通アクセスが一段と良くなったこと、オリンピック選手団が入居した集合住宅が個人住宅として開放されたことなどもあって、人口は着実に増えてまいりました。しかしながら、近年は、少子・高齢化が急速に進み、人口は減少傾向にあります。

こうした状況下で、これからも川中島町が魅力ある地域としてさらに発展して行くため、5年先、10年先を展望して、新たな「まちづくり計画」を策定したところです。

2. 計画の位置づけ

私たち川中島町住民自治協議会（令和2年度呼称変更）は、平成19年12月、市内32地区の中で5番目に組織を設立し、今日まで「行政の一翼を担う」とともに、「自主活動」を重んじた活動を進めてまいりました。

また、住民自治協議会の「事業方針」や「事業計画」は、毎年度の定例総会において決定し、社会福祉等に関する事業等は、社会福祉協議会が中心となって進めてまいりました。

この度、「川中島町まちづくり計画」の策定に併せ、住民自治協議会並びに社会福祉協議会の組織についても見直しを行い、社会福祉協議会を住民自治協議会に統合し、社会福祉関係の事業についても住民自治協議会において行うこととしました。

本計画は、住民自治協議会が、今後進むべき方向性と事業（施策）を示す基幹となる計画となります。

3. 計画策定の経緯

平成19年12月 川中島地区住民自治協議会設立

平成29年 5月 川中島町まちづくり計画策定決定（平成29年度通常総会で）

同 10月 まちづくり計画策定準備委員会設置

平成30年 1月 まちづくりアンケート実施（自治会長・区長・互長・班長等）

同 2月 まちづくりアンケート実施（川中島中学校・広徳中学校・長野南高校）

同 3月 まちづくりアンケートの回収・意見集約

同 5月 まちづくり計画策定委員会設置

同 5月 まちづくり計画策定小委員会設置（5分野）

同 6月 まちづくり計画策定小委員会開催（令和元年10月まで分野毎に）

同 7月 川中島地区住民自治協議会組織見直し検討委員会設置（以後14回開催）

平成31年 2月 川中島町まちづくり計画策定委員会合同会議（以後3回開催）

令和元年 11月 川中島町まちづくり計画策定委員会（原案決定）
同 12月 川中島町まちづくり計画・組織見直し承認（臨時理事会・臨時評議員会）
令和2年 4月 川中島町まちづくり計画・組織改正スタート

4. 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年とします。
また、毎年度の事業計画において、重点施策を決めて取組むとともに各事業の実施状況を評価し、改善と見直しを行います。

5. 計画の推進体制

令和元年度までの「川中島町まちづくり計画策定委員会」は、解散をして、令和2年度以降は各部会が計画を推進するとともに、その成果を理事会・評議員会に報告します。

第2章 目標・施策・事業

総務部会

部会目標：住民参加の協働によるまちづくり

基本施策：地域の個性を活かしたまちづくり計画の推進

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
川中島町まちづくり計画の推進	事業の着実な推進を図るため、計画の周知とまちづくりに対する住民意識の醸成が必要です。	まちづくり計画の事業を着実に推進するため計画の進捗状況や現状の課題・ニーズを把握し、定期的に計画事業の見直しを行います。					
長野市必須・選択事業の実施 委員等の推薦・選任、「広報ながの」などの配布・回覧・周知、行政連絡区の区長及び世帯数（事業所含む）の報告、ごみ分別啓発に関する発行物の必要数調査及び配布、地区内の土木要望事業のとりまとめ、「日赤活動資金」の募集及び取りまとめ、「共同募金(戸別・法人募金)」の募集及び取りまとめ、「緑の募金」の募集及び取りまとめ等	住民自治協議会の役割や、事業に積極的に参加する取り組みと、女性が参加できる仕組みが大切です。	長野市との協働による取り組みを行うことで、地域の実態に即したまちづくりを進めます。					



住民参加によるワークショップでまちづくりを考える

基本施策：防災に対する意識高揚と対応力の強化

(●検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
川中島地区自主防災連絡協議会の組織・体制の強化	自主防災連絡協議会として運営規則は整備されていますが、災害経験がないため、災害発生時の対応に不安があります。	①住民自治協議会主催による総合防災訓練を実施します。(年1回実施) ②避難所運営ゲーム(通称:HUG)の実施による仮想体験をします。 ③行政機関との情報連絡会・研修会等の実施による防災・減災対策及び情報の共有化を図ります。					
各区の自主防災会組織の体制整備と具体的な対応力強化	消防訓練は年2回実施が制度化されていますが防災訓練は任意実施のため、防災会毎の対応にバラつきがあり、災害発生時の初期行動の混乱が懸念されます。	①自主防災会毎の防災教育、防災訓練の定例化を推進します。 ②社会福祉部門と連携し災害時の要援護者支援体制の整備を図ります。					
災害時の各種行動マニュアルの作成・整備	自主防災会運営要綱・規約等はあるものの具体的な行動対応が明確でないため、マニュアルによる行動基準が必要となります。	①住民自治協議会を主体として避難所運営マニュアルを作成します。 ②各自主防災会主体に災害時行動マニュアルを作成します。(職務分担表に基づき具体的な行動指針) ③平時における行動要綱を作成します。					
消防力の充実と予防対策の推進	団員のなり手不足が顕在化しています。また、団員の高齢化も進展しています。 住宅用火災警報器未設置家屋の火災が全焼傾向にあります。 火災時での高齢負傷者の割合が5割超過の状況が続いています。 救急車の不適切通報・利用が多い現状です。	①団員の人材確保と若返り。活動及び女性団員確保活動の展開(関係機関と連携して活動します。) ②消防訓練も自助・共助を体感する訓練を導入し訓練の成果を図ります。 ③消火器・火災警報器等の全戸設置を目標に広報活動を展開(生命・財産を守るための広報活動)をします。 ④救急車の適正利用を啓蒙します。					

社会福祉部会 部会目標：誰もが、自分らしくいきいきと生きるために支えあうまち

基本施策：1 ふれあい・つながる

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
あいさつ運動	小中学校であいさつの啓発と推進を行う「あいさつ運動」を行っています。地域全体でも「あいさつ運動」に取り組み、気軽にあいさつできる関係づくりを築くことが望まれます。	あいさつは防犯面でも効果があり、隣近所であいさつを交わし合い、声を自然にかけ合えるような地域にしていくため、地域・学校等であいさつ運動に取り組みます。また、のぼり旗やたすきを作り活動を周知します。					
ふれあいサロン	各地区内に集いの場を設け、交流の機会を提供しています。幅広く参加者を募り、歩いて行ける場の提供が必要です。	身近な場で集い交流することで、地域の中のつながりを豊かにするサロン活動を推進します。幅広い世代を対象に開催し、交流の場を増やします。また、参加者同士の見守りを促進します。					
ふれあい会食	ひとり暮らし高齢者を対象にした会食会が開かれています。今後も、ふれあいの場を定期的で開催していくことが望まれます。	ひとり暮らし高齢者を対象に、会食会を開催し、ふれあいの場を提供します。					
介護者のつどい	高齢化に伴い、介護者の増加が予想されます。介護者同士が情報交換をしたり、交流できる機会が必要です。	在宅等で介護している家族を対象に、リフレッシュのための機会や、介護者同士が交流・相談と介護の知識を得ることができる場をつくります。					
きぼうの旅	障がいのある方や家族が外出したり、交流できる機会が求められています。対象者が参加しやすい方法を考えていくことが必要です。	旅行を通して、障がいのある方やその家族の交流や親睦の機会を提供します。地区内の関係団体と協力し、幅広い参加を呼び掛けます。					
男性の地域デビュー	生きがいとつながりのある生活を送るため、男性が活動に参加するためのきっかけと仲間づくりをする場が必要です。	男性の食生活の自立を図るとともに、活動内容の幅を広げ、参加者同士の親睦を深めることで、男性の地域社会参加にもつなげていきます。					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
まちの縁側推進	地域の中で気軽に集まり、話のできる場が増えています。歩いて行ける範囲に、つながりの場ができることが望まれています。	「まちの縁側」は、だれでもいつでも気軽に立ち寄れる居場所です。人々が、ほっとできおしゃべりができる場を地域の中に見出し、支援を行います。					
世代間交流	毎年楽しみに参加される方が多く、多世代交流にもなるため、今後も続けて行くことが望まれています。昔からの伝承文化を通して、各地区でふれあいが行われていますが、今後も世代を超えて受け継いでいくことが大切です。	①イベント 川中島フェスティバル・川中島白桃お花見ウォーキングを通して自然に親しみながら交流します。 ②伝承文化 川中島音頭や地域に伝わる神楽、獅子舞、しめ縄づくり、どんど焼き、おやき作り、やしよま作りなど、昔からある伝承文化を通して交流します。					

基本施策：2 育てる・ささえあう

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
ボランティア活動の充実と支援	ボランティア講座等を通して担い手の育成をしていますが、より多くの方が気軽に参加できる仕組みや、関心を持ってもらえるような働きかけが必要です。	研修等を通し、ボランティアや地域への関心を高め、活動の参加につなげていきます。また、ボランティアセンターを活用し、情報の受発信と、気軽に参加できる場づくりを行います。					
福祉推進員の活動	研修会等を行い福祉についての理解を深めています。地区内ではサロンや親子ひろば等に協力し、積極的に地域福祉を推進することが必要です。	サロン活動等に関わる中で、民生児童委員、地区役員との連携を深め、身近な困りごとの解決につなげていきます。また、認知症や障がい福祉などについて理解を深めるための研修を行います。					
ふれあい福祉体験	福祉推進員の研修会で体験講習を行っていましたが、福祉について考える機会として、より多くの方が参加できるよう実施していくことが望まれます。	福祉事業所等と連携を図り、地域・学校等へ福祉体験やふれあいの場への積極的な参加を呼び掛けます。					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
用具の貸し出し	車いす・紅白幕・テントの短期貸し出しを行っており、今後も貸し出し、地域福祉を支援します。	車いす・紅白幕・テントを地域に短期間貸し出し、地域福祉を支援します。					
親子ひろば（みんなともだち）	未就園児の親子が交流し、相談のできる場として行っており、子育て中の親子のふれあいの場として長く続けて行くことが大切です。	未就園児の親子が安心して遊べる場や、親同士の情報交換と交流・相談のできる場を提供します。					
子ども支援	核家族化・共働きなどにより、放課後や長期休みを子どもだけで過ごす家庭も多くなっています。子どもが安心して過ごす場が必要です。	地域の子どもの居場所づくりを推進します。					
オレンジカフェ	認知症の理解を深め、みんなで見守りのできる地域にしていくことが必要です。	認知症の方・介護している方・地域の誰かが集い、安心して話のできる場をつくり、認知症の理解を深めていきます。また、介護相談を受けながら専門機関へつなぎます。					
地域たすけあい事業	地域住民の協力のもと、家事援助・福祉移送を行っていますが、担い手が不足しています。	①家事援助 高齢・障がいなどで、日常の家事に関する困りごとを、地域住民の協力会員が支える会員制の有償たすけあい活動を行っています。サービス利用に関する情報提供と担い手の確保等を進めます。 ②福祉移送 高齢・障がいなどで、公共交通機関の利用ができない方を、地域住民の協力会員が医療機関へ送迎を行う、会員制の有償たすけあい活動を実施します。サービス利用に関する情報提供と担い手の確保等を進めます。					
相談事業	よろず相談や困りごと相談の場がありますが、より身近な場所や色々な機会を通して相談のできる体制が必要です。	身近な場所に気軽に相談できる場を作り、情報の発信を行います。必要により、専門機関につなぎます。 (結婚相談・子育て相談・福祉なんでも相談・ボランティア相談など)					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
高齢者等の見守り	民生児童委員やご近所同士で見守りを行っています。こうしたご近所のゆるやかな見守りから、安心して暮らせる地域にしていく必要があります。	地域の実情に合った様々な見守り活動に取り組みます。					
地域支え合いネットワーク	隣近所など顔の見える範囲で、地域の課題や困りごとを早期発見し、必要な支援や専門機関につなげることが大切です。	ご近所のゆるやかな見守りの中で、地域の課題や困りごとを早期発見し、必要な支援や専門機関につなげます。自治会や班を単位としたネットワーク化を図ります。					



川中島白桃お花見ウォーキング



福祉活動資金に充てる福祉バザー



川中島フェスティバル'21 宝船の巡行



ふれあい会食

基本施策：3 知る・伝える

(●検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
広報・情報紙の発行	あいの島タウンや社協だより・ボランティア情報を発行し地域の情報を伝えています。もっとたくさんの方に読んでいただき、地域の活動に興味を持っていただけるような工夫をすることが必要です。	地域の活動や住民自治協議会の行事等多様な情報を、わかりやすく発信します。					
地域福祉懇談会	年に1度、区を単位に地域福祉懇談会を行っています。地域の課題を共有する機会となっておりますが、具体的な取り組みにつなげていくことが必要です。	地域の福祉課題について、地区の役員等が一堂に会し、課題の共有と具体的な解決方法を検討します。					
災害に備える	各区や町全体で防災組織はできていますが、実際に機能する体制を作ることが必要です。 ご近所で見守りや関わり合いながら生活していますが、支えあいの実態や福祉課題を把握するには至っていません。福祉課題等を共有し、話し合う必要があります。	①災害時の体制 安全防災部会と連携し、普段のつながりを意識した災害時の体制づくりを推進します。 ②支えあいマップ 福祉課題等を共有することで課題解決に向けて解決策を探るため、地区ごとに地域支え合いマップを作成し、災害時や普段の見守り・支え合いに活かします。作成には、安全防災部会と連携して行います。					
あんしん便利帳更新	どこに何を相談すれば良いかわかる冊子を全戸配布していますが、内容の更新が必要が必要です。	何か困ったときに、どこに相談すれば良いか一目でわかる「安心便利帳」を更新・作成し、急病時に対応できる緊急キット等とあわせて活用します。					
住民福祉大会	安心して暮らせる地域とするための啓発活動とより多くの方の参加を呼び掛けることが必要です。	多年にわたり社会福祉の向上にご尽力された方を表彰し、感謝の意を伝えます。また、安心して暮らしていくために、地域への関心と理解を深め、福祉活動への参加につなげます。					
福祉バザー	「誰もがができる福祉活動」として、地域住民が参加し、地域福祉への関心を高めるために行っています。また、川中島町の福祉事業の大切な財源となっており、多くの方の参加が必要です。	地域住民により寄贈された物品を、バザーで販売し、収益金を福祉活動資金に充てるものです。物品提供や購入者として参加することで、地域福祉の輪を広げます。					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
資源マップ作成	地域の中に、集いの場や困ったときの相談場所などたくさんの資源がありますが知られていません。必要な方に知ってもらえるような工夫が必要です。	ジャンル別にわかりやすくみやすいマップ（ガイド）を各関係機関と連携し、必要に応じて作成します。					
福祉関係機関と関係団体とのネットワーク	福祉関係機関等との情報交換を行うことで、支え合いの地域づくりに連携して取り組むことができます。	関係機関と連携・情報交換をし、支え合いの地域づくりのためのネットワークを構築します。					

基本施策：4 健康づくり

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

健康講座	様々な団体が講演会や企画をしていますが、連携した取り組みが必要です。	いつまでも「いきいきとした活発な生活」が継続できるよう、他団体との調整を取りながら、健康食や体操等の講座を開催します。また取り組みには、長野保健医療大学や専門機関と連携し行います。					
介護予防	定期的に集まり、健康と仲間づくりのできる介護予防教室を、歩いていける範囲に広げて参加することが望まれます。	各区・自治会の中で、楽しみながら運動や脳トレなど仲間づくりの「はつらつ体操クラブ」を立ち上げます。また、グループが継続できるよう支援を行います。					
健康づくり	多世代にわたって、気軽に健康づくりに参加し交流の出来る場が必要です。	幅広い人が気軽に参加でき、地域の交流となっている「ラジオ体操」を、多世代交流とゆるやかな見守りの場として継続し、広まるよう取り組みます。					
長野保健医療大学との連携	大学と連携し健康講座等を行っていますが、看護学部も新設され、学生・大学と地域の交流と連携がこれまで以上に必要です。	健康講座・健康測定を通して、地域の「健康＋介護予防」の取り組みを連携して行います。					



町民に配られる広報誌『あいの島たうん』



川中島町のシンボル桃と五輪表彰台

基本施策：住民主体の地域づくり

(●検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
農業分野の振興	川中島の農業は、高齢化と後継者不足、若年新規参入者不足により、減少の一途です。農業分野の継続と育成が必要です。	①川中島の桃を起点とした生産性の向上 ②新規参入への活動と協力 ③子供達に農業の魅力を啓発していく活動 ④他作物・品種へのアプローチ					
産・学・町民の「川中島健康さーくる」	町民が健康に関して高い意識をもち、自らの健康づくりを日々実践し、生活習慣病改善・認知症予防を図ります。	①長野保健医療大学と連携して、健康・医療・介護の分野で継続的なワークショップを開催します。 ②「川中島健康さーくる」(仮称)を組織し、認知症予防、生活習慣病改善など民間企業・大学・町民の連携によって、暮らせば健康になるまち「川中島」を目指します。					
持続的な地域振興の為のまちづくり推進	川中島幹線北部延伸とその周辺に広がるエリアの地目変更等が論議されています。行政は、道路や公共施設といった「点」ではなく、まちという「面(エリア)」で活用及び開発の絵を描くことを住民に推奨しており、この難題は、住民主体で未来思考もまちづくりを行うチャンスだと考えられます。子や孫の世代以降も、暮らしやすい故郷の姿、仕組みはどうあるべきかが問われており、住民自治の本質課題であると言えます。	住民主体でまちづくりをしていくための周知・学習・啓発を進めるため、住民を対象にした講演会やワークショップ・勉強会・座談会・集会・イベントなどを企画し、定期的に行っていきます。より理想的な仕組みづくりとして、住民自治のありかたやまちづくりのワークフローを学び、住民主体で継続的にまちを運営していく土台づくりを目指します。川中島の未来ビジョンを具体化し、提案していきます。					

防犯安全部会

部会目標：地域が安心・安全な生活圏として維持できるまちづくり

基本施策：1 地域での自主的な防犯活動を推進する

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
見守りパトロールの継続実施	①全体に発生件数は減少傾向にありますが、軽犯罪件数の割合が高まっています。特に自転車の盗難が多発しています（駅が2つあることが要因）。 ②子どもの連れ去り事件が増加傾向にあります。	①長野南警察署との連携により、従来通り啓発活動や見回り活動を継続して推進します。 ②駐輪場の見回り、鍵かけチェックを実施します。 ③防犯カメラの設置による犯罪抑止につとめます。					
特殊詐欺被害対策	特殊詐欺の件数が増加傾向にあります。通信販売に関する被害件数も横ばいで推移しています。	①長野南警察署との連携により啓発活動を継続します。（駅・大型店での広報活動） ②特殊詐欺の注意喚起のための防犯教室の開催します。					
地域住民の防犯意識高揚	防犯協会及び行政機関と一部の防犯団体に依存した状況があります。	①住民の防犯意識高揚のため、各区・自治会毎に防犯活動体制構築を推進します。 ②無理せず、気長な活動を展開します。 ③子どもの下校時に「ながら見守り運動」を展開します（犬の散歩、農作業等）。					

基本施策：2 交通安全対策の充実

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
交通安全対策の推進	交通事故の発生件数は減少傾向にあるものの高齢者の事故が依然として多い状況です。	①交通安全意識の高揚及び交通マナーの向上啓発活動を継続実施します。 ②老人クラブ等の組織を通じて高齢者への啓発活動を推進します。 ③高齢ドライバーの免許返納啓発活動を推進します。 ④子どもの安全対策として、学校・安全協会等と連携し、安全教室や見守り運動を展開します。					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
自転車の交通安全対策	道交法改正やながら運転の影響もあり、自転車による事故が増加傾向です。	①自転車の運転マナー向上のための啓発運動やセミナーを開催します。 ②自転車通行の環境改善運動（歩道への駐輪禁止広報・啓発活動）をします。					

環境部会

部会目標：豊かな自然と環境にやさしいまち

基本施策：1 地球温暖化防止

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
再生可能エネルギーの有効活用	川中島平は日照条件が良いので、二酸化炭素排出量の少ない太陽エネルギーを利用して温暖化対策に努めることが必要です。	①太陽光を利用した太陽光発電の普及を推進します。 ②太陽熱を利用した太陽熱温水器の普及を推進します。					
省エネルギーの推進	環境問題が様々な場所で叫ばれている中、日常生活の中でエネルギーの節約をすることが大切です。一人ひとりが意識をすることが必要です。	次の項目の実施、推進等を呼びかけます。 ①公共交通機関や自転車の利用 ②雨水の利用 ③グリーンカーテンの活用 ④電気、ガス、石油などの節約 ⑤クールビズ、ウォームビズの推進 ⑥クールシェア、ウォームシェアの利用 ⑦エコドライブの活用、推進					

基本施策：2 循環型社会の実現に向け

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
ごみの減量の推進	地球的規模で問題になっているプラスチックごみの増大、また食品ロスが叫ばれている昨今、物を大切に、安心できる環境づくりが必要です。	①過剰な消費を抑制するよう呼びかけます。 ②食べ残しを減らす運動の推進します。 ③マイバッグ持参でレジ袋を削減を呼びかけます。 ④プラスチックごみの削減を呼びかけます。 ⑤生ゴミの堆肥化を推進します。					

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
ごみのリサイクル	家庭から出るゴミは、焼却場で燃やされ、大量の二酸化炭素を排出させています。ゴミを減らせばその排出量を減らすことが可能です。ゴミを捨てる際きちんと分別して、再利用、再資源化が必要です（3R）。	①廃棄物の発生を抑制します。 ②不法投棄禁止の啓発活動を行います。 ③資源回収施設の整備を行います。 ④再資源化の推進を図ります。 ⑤資源の再利用を推進します。 ⑥資源回収の実施に努めます。					



地球環境についての講演会



ゴミの分別に目を光らせる

教育文化部会

部会目標：次世代を担う青少年の健全な育成と歴史文化遺産の保存・継承を図るまち

基本施策：1 人権尊重社会及び男女共同参画社会の実現推進

(●：検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
人権、男女共同参画に関わる懇談会を開催	地域公民館単位に、隔年で人権に関わる懇談会を開催します。	地域公民館単位で、人権・男女共同参画に関わる懇談会を開催します。					
人権、男女共同参画に関わる講演会、研修会を開催	人権、男女共同参画に関わる講演会、研修会を開催します。	人権、男女共同参画に関わる講演会、研修会を開催します。					

基本施策：2 家庭・学校・地域の連携による教育力向上・子ども・青少年の健全育成活動の推進

(●検討 ★：実施 ■：見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
「子育てセミナー」「シルバーセミナー」等	心豊かな子どもを育てるために「家庭教育」を充実させるための支援します。	子育て中の親はもちろん、子どもに係わるお年寄り等に向けても家庭の大切さを伝えます。					
あいさつ運動	現在は、教育文化部会で、少人数で長年続けてきているが、現状を見るに積極的に人と関わることを喜び、人の心が分かる子どもに育てて欲しい」との願いをこめて地域ぐるみの運動にします。	多くの部会、家庭、学校を巻き込み、常に町の中にあいさつが行きかう川中島にしていきます。					



町民の健康体操



伝統のワラ細工を教える



どんど焼き



親子料理教室



町民の健康体操



クリスマスを楽しむ

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
長野保健医療大学との連携	長野保健医療大学の存在を尊ぶと共に、連携協定により若者に良い影響を与え、健康長寿を基盤とする活力ある地域づくりへ繋がるものとします。	大学と連携を取り合い、意見を伺い、それを具体的にしていきます。					

基本施策：3 次世代を担う青少年の健全な育成と歴史文化遺産の保存・継承を図るまち「かわなかじま」、社会教育事業(成人式)スポーツの振興

(●検討 ★:実施 ■:見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
川中島地区の地名の由来を探る	「川中島地区の地名」～字名の由来を探る～は、冊子として平成29年度に前公民館長が編集・制作し、1冊300円で頒布しました。	町公民館資料による継承、地域住民への啓発をします。					
健康、食育講座(フレイル予防講座)を普及させ健康年齢を高める	成人学校や市民講座、健康講座を実施しているが、住自協や社会福祉部会とさらに連携を深めたい。それぞれの団体が、単独で計画しているので連携調整役が必要です。	住自協、町公民館、社会福祉部会、長野保健医療大学との連携会議を定期的実施して一つの講座を協賛して運営します。					
スポーツ大会の推進(ソフトボール、野球、女子バレーボール)等(今後は種目や内容について検討します)	スポーツ大会(6月～8月)を通して、地域住民の体力向上と地域間交流促進を継承してきているが、参加者の高齢化やチーム数の減少で従来の大会運営に陰りがあります。スポーツ種目の変更や、ルールの改正を検討します。地域公民館長、体育部長にアンケートを実施し、今後のあり方を検討します。	地域公民館と連携します。地域で選出しているスポーツ推進主事を中心として事務局運営ができないか検討します。					

基本施策：4 地域文化の継承と創造、文化活動の推進と地域づくり

(●検討 ★:実施 ■:見直し)

実施事業	現況と課題	事業概要	実施年度				
			2	3	4	5	6
川中島町の昔ばなし	冊子にして有料化します(冊子づくり)。	たうん情報に記載します。語り継ぐ活動をします。					

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします

< > 内人数

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

① あなたの性別は	1. 男 <518>	2. 女 <331>
② あなたの年齢は	1. 10代・20代 <14> 3. 40代 <148> 5. 60代 <232>	2. 30代 <87> 4. 50代 <132> 6. 70代以上 <236>
③ あなたの家族構成は	1. 単身世帯 <97>	2. 夫婦のみ <245>
	3. 二世帯世帯(親と子) <438>	4. 世代世帯(親と子と孫) <62>
	5. その他(具体的に) <7>	
<別紙>		

まちの現状についておたずねします

問2 あなたは、全体的にみて、川中島町の暮らしやすさについてどのように感じていますか。

- | |
|---|
| 1. 満足 <156> 2. どちらかという満足 <424> 3. どちらともいえない <173> |
| 4. どちらかという不満 <74> 5. 不満 <8> |

※ 問2で「4.」または「5.」に○をつけた方にお伺いします。その主な理由はなんですか。

1. 自然の減少や環境の悪化	<3>
2. 日常の買物が不便	<32>
3. 道路事情や交通の便が悪い	<41>
4. 地域行事や近所づきあいが面倒	<24>
5. 子どもの保育・教育、進学先が心配	<3>
6. 地域内に適当な職場(働き場所)が少ない	<13>
7. 保健・医療サービスや関係施設が整っていない	<14>
8. 福祉サービスや関係施設が整っていない	<6>
9. スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	<21>
10. 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	<9>
11. その他(具体的に)	<11>
【別紙】	

川中島地区住民自治協議会についておたずねします

問 3 川中島地区住民自治協議会の組織や運営・活動について伺います

①組織	1. 知っている <532>	2. 知らない <313>
② 運営・活動	1 よく知っている <31> 3. 全く知らない <257>	2 ある程度は知っている <549>

※ 上記 問 3「①組織」または「②運営・活動」の項目で

1. 知っている（または）よく知っている 2. ある程度は知っているに○をつけた方に
次の運営やイベント等についてお伺いします。

① 川中島町公民館の指定 管理による運営 (平成 29 年 4 月から長野市よ り管理運営を受託)	ア 指定管理による運営	
	1. 知っている <263>	2. 知らない <324>
	イ 指定管理による運営 (利用の利便性)	
	1. 以前より良くなった <57 >	2. 変化は感じない <372>
	3. 以前より悪くなった <6>	
② 耕作放棄地の活用 (平成 29 年 4 月から御厨・今 里で市民菜園を開園)	ア 市民菜園の開園	
	1. 知っている <344>	2. 知らない <257>
	イ 取組の評価	
	1. 評価できる <225>	2. 拡大が必要 <140>
	3. 不十分 <47>	
③ あいの島たうん (住自協広報紙)	ア 毎月 1 回発行	
	1. 見ている <429>	2. 見ていない <168>
	イ 特集号 (必要の都度発行)	
	1. 見ている <386>	2. 見ていない <194>
	ウ 広報紙としての機能	
	1. 十分機能 <78> 2 普通 <418> 3. 不十分 <34>	
	エ 発行回数	
	1. 現在の回数程度で良い <514>	
	2. もう少し増やすことが必要 <13>	
④ 川中島フェスティバル 21 (今井原けやき通り・10 月実施)	ア 毎年、実施していることを	
	1. 知っている <605>	2. 知らない <2>
	イ フェスティバルへの参加 (見学を含む)	
	1. 毎年参加している <89>	2. 参加したことはある <369>
	3. 参加したことはない <144>	



⑤ 川中島白桃お花見ウォーキング (川中島の桃の花を愛でながらのお花見ウォーキング：4月実施)	ア 毎年、実施していることを 1. 知っている <416> 2. 知らない <192> イ ウォーキングへの参加 1. 毎年参加している <0> 2. 参加したことはある <27> 3. 参加したことはない <547>
⑥ 川中島白桃ツアー (桃畑・共選所等の見学、桃の試食：8月実施)	ア 毎年、実施していることを 1. 知っている <408> 2. 知らない <198> イ ツアーへの参加 1. 毎年参加している <2> 2. 参加したことはある <21> 3. 参加したことはない <552>
⑦ 中尾山ハイキング (共和地区から恐竜公園までハイキング、童謡の森で交流会：11月実施)	ア 毎年、実施していることを 1. 知っている <330> 2. 知らない <275> イ ハイキングへの参加 1. 毎年参加している <3> 2. 参加したことはある <30> 3. 参加したことはない <526>
③ ボランティアセンター (平成29年7月川中島支所1階に開設)	ア 開設されたことは 1. 知っている <264> 2. 知らない <341> イ 実施状況や内容 1. 知っている <86> 2. 知らない <488> ウ ボランティアセンターへの関心 1. 大いにある <26> 2. ある程度はある <366> 3. 全くない <191>

産業振興等についておたずねします

問4 川中島町を「地域の特性を生かした魅力あるまち」としていくために、あなたはどのような産業振興に取り組むことが重要と考えますか。(2つまで○印)

1. 自然環境を守る稲作・果樹栽培など「農業の振興」	<278>
2. 既存の商工業の活性化など「商工業の振興」	<209>
3. 川中島白桃のブランド力など農業と商工業の連携による「第6次産業の振興」	<437>
4. 地域内の名所・旧跡の発掘による「観光の振興」	<173>
5. 企業・大型店等の誘致による「雇用の場の創出・振興」	<339>
6. その他(具体的に)	<28>
【別紙】	

福祉関係についておたずねします

問5 あなたは、高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで○印)

1. 介護予防事業や在宅福祉の充実	<283>
2. 身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実	<408>
3. 社会参加の場の確保や生きがいづくりに繋がる施策の実施	<156>
4. 高齢者や障がい者向けの住宅、リフォームなど生活環境の整備・援助	<152>

5. 公共変通機関の整備など移動手段の充実	<340>
6. 高齢者や障がい者が集えるふれあいの場の拡大・充実	<130>
7. 軽スポーツの企画など健康増進事業の充実	<90>
8. その他（具体的に）	<19>
【別紙】	

安全・防災対策についておたずねします

問6 あなたは、災害に強いまちづくりに向けた安全・防災対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. 常備消防・救急体制（消防署）の連絡体制の再構築	<232>
2. 町内の消防体制の整備	<167>
3. 避難所・避難場所・避難経路の住民への周知徹底	<490>
4. 災害発生時の情報連絡・給水・救急体制等の整備	<507>
5. 地域の自主防災組織の再構築	<125>
6. 町民参加の防災訓練の実施	<141>
7. 救急救命講習や器具の充実	<179>
8. 防火水槽や消火栓など消防用施設の整備	<138>
9. その他（具体的に）	<22>
【別紙】	

環境対策についておたずねします

問7 あなたは、環境保全対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. ごみの減量・リサイクルの推進	<487>
2. ごみ収集業務の充実	<216>
3. レジ袋等の削減の推進	<128>
4. 不法投棄防止監視体制の強化	<277>
5. 町内の美化・清掃運動の推進	<259>
6. 自然エネルギーの利用促進（太陽光、水力、風力など）	<266>
7. 省エネルギー行動の促進	<163>
8. 環境教育・環境学習の推進	<219>
9. その他（具体的に）	<21>
【別紙】	

子育て・教育についておたずねします

問8 あなたは、保育や子育てに地域でどのような支援や施策を行うことが必要だと思いますか。（2つまで○印）

1. ファミリーサポート（※1）事業の推進や子育てボランティアの育成・活用	<374>
2. 町公民館講座・スクラム川中島（※2）など子育てに関する支援、総合相談体制の確立	<209>
3. 子育てサロン（※3）、さんぼんやなぎプロジェクト（※4）、サークルなど子育てに関する交流の場の充実	<301>
4. 障がい者等弱者に対する地域での援助、障がい者福祉施設への支援	<255>
5. 児童虐待の予防、早期発見と対応、解消対策の推進（行政との連携）	<242>

6. その他（具体的に） 【別紙】	<24>
----------------------	------

- ※ 1 ファミリーサポート…「子育てを手助けしてほしい人」と「子育てを手助けしたい人」が会員となり、地域の子育てをお互いに支え合う事業。たとえば、保育所の開始前や終了後の子供の預かりや送迎のサービスなど。
- ※ 2 スクラム川中島…学校と地域が「こんな子供を育てたい」という願いを共有しながら子供を育てる学校（川中島中学校、川中島小学校、昭和小学校）
- ※ 3 子育てサロン…就学前の子どもとその親のための子育て広場
- ※ 4 さんぼんやなぎプロジェクト…子どもを中心とした居場所づくりに取り組むサークル

道路・交通についておたずねします

問 9 あなたは、川中島町及びその周辺で、どのような道路や交通手段が必要と考えますか。（2 つまで○印）

1. 川中島幹線道路（長野南バイパス交差点以北）の早期整備	<223>
2. 地域内の主要道路の歩道整備（設置）	<352>
3. 地区内の身近な生活道路整備	<352>
4. 鉄道や路線バスの利便性向上	<301>
5. 巡回タクシーの利便性向上	<187>
6. その他（具体的に）	<48>
【別紙】	

これからのまちづくりについておたずねします

問 10 あなたは、今後の川中島町のまちづくりに当たり、どのような特色のあるまちにしていけることが必要と考えますか。（3 つまで○印）

1. 子どもたちがいきいきと育つ、「子育てのしやすい」まち	<408>
2. 老人・子供・障がい者等に対して、思いやりや支援が自然と行われる「福祉活動が充実した」まち	<470>
3. 教育・文化・スポーツ・芸術など「教育・文化活動が充実した」まち	<191>
4. 稲づくりや果樹栽培(桃・林檎・葡萄等)など農業が盛んに行われている「自然環境が豊かな」まち	<220>
5. 商工業が活発で魅力ある「就業の場のある」まち	<181>
6. 犯罪や災害に対する備えができた「安全で安心して住める」まち	<350>
7. 町内の道路網やごみ処理、公園など「生活環境が整った」まち	<236>
8. 文化遺産や歴史的なまち並みが保存された「伝統文化を大事にした」まち	<59>
9. 男女が性別に関係なく「誰でもが社会で活躍できる」まち	<67>
10. その他（具体的に）	<21>
【別紙】	

御協力ありがとうございました。

全地区 川中島町まちづくりアンケート回収状況

区名	配布数	回収数
南原区	190	148
御厨区	162	123
上氷鉤区	106	86
今井原区	142	22
北原区	122	71
国道昭和区	36	17
神田区	43	34
今里区	112	84
今井区	27	23
本町区	58	42
四ツ屋区	140	98
若葉町区	68	57
三本柳西区	84	51
	1,290	856

(地区役員へ配布)

回収率 78.2%

学校名	配布数	回収数
川中島中学校	250	214
広徳中学校	35	31
長野南高校	50	48
	335	293

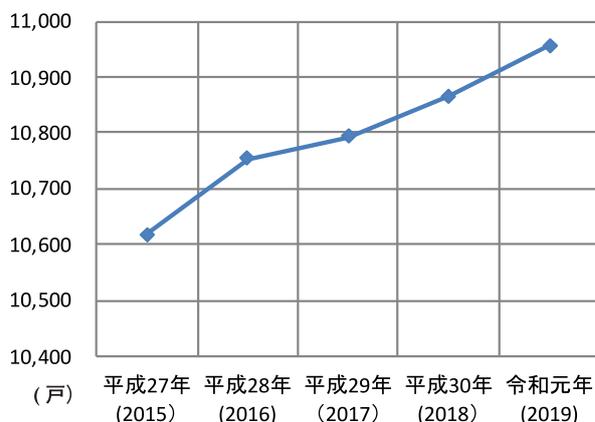
回収率 89.1%



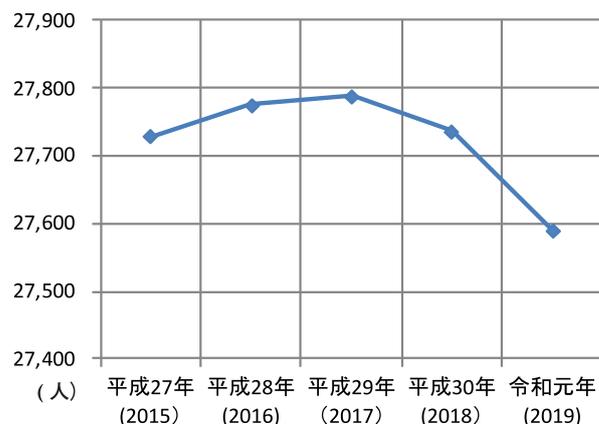
●川中島町の人口と世帯数の推移

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
世帯数(戸)	10,617	10,753	10,792	10,866	10,956
人口(人)	27,728	27,775	27,787	27,736	27,590

世帯数



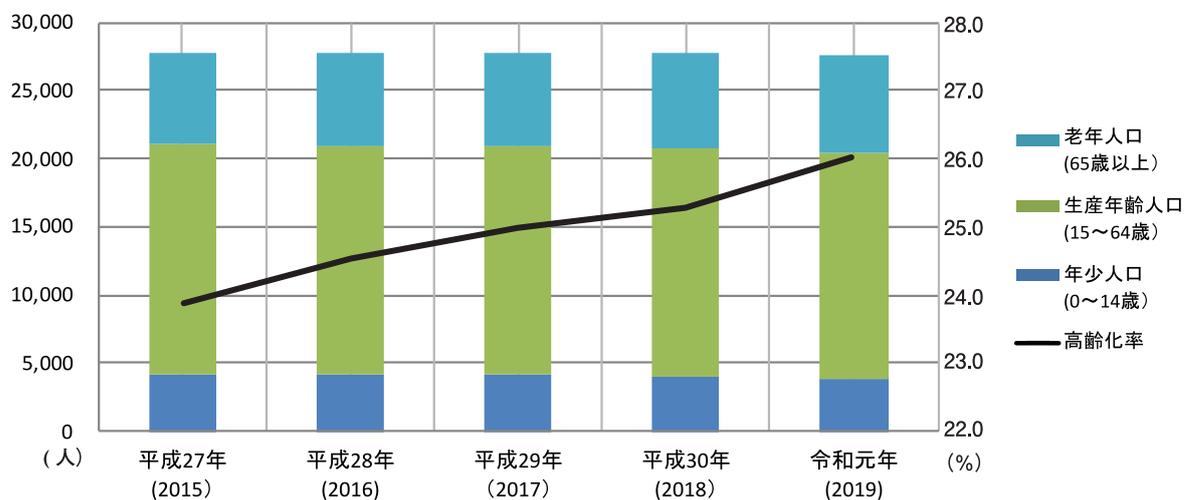
人口



●川中島町の年齢構成別人口の推移

単位：人

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
年少人口 (0～14歳)	4,209	4,099	4,084	4,046	3,895
生産年齢人口 (15～64歳)	16,881	16,867	16,770	16,669	16,531
老年人口 (65歳以上)	6,638	6,809	6,933	7,021	7,164
高齢化率(%)	23.9	24.5	25.0	25.3	26.0



「川中島町まちづくり計画」策定委員会名簿

役 職	氏 名	所 属
委員長	田原 幸雄	元川中島地区住自協会会長
産業振興小委員長	清水 英二	長野市商工会川中島支部理事
産業振興副委員長	小山 忠房	長野市商工会川中島支部長
産業振興副委員長	倉野 立人	会社員
産業振興	小林 修	八十二銀行今井支店長
産業振興	青島 洋祐	前川中島白桃を愛する会会長
産業振興	平尾 勇	前長野経済研究所調査部長
産業振興	山田 啓文	株式会社リアルヘルディングス 代表取締役
健康・福祉小委員長	窪田 秀樹	三本柳西区長
健康・福祉副委員長	今井 誠一	福祉推進委員長
健康・福祉副委員長	山崎 宏美	川中島地区住自協福祉ワーカー
健康・福祉	岡宮 真理	さんぼんやなぎプロジェクト代表
健康・福祉	小池 邦子	社会法人花工房福祉会 コーソファミリ-所長
健康・福祉	春原 るみ	長野保健医療大学講師 認定作業療法士
健康・福祉	高見澤明子	川中島地区住自協副会長
健康・福祉	村山 秀子	今井原区民生・児童委員
安全・防災小委員長	高砂 潔	川中島地区住自協副会長・ NPO 法人エコイブ・プロジェクト信州理事
安全・防災副委員長	竹内 圭	消防川中島第1分団長
安全・防災副委員長	伊藤 ひで	安全・防災部会副部会長
安全・防災	隈崎 和美	安全・防災部会員
安全・防災	武田 健治	長野南交通安全協会中津分会長
安全・防災	丸田 廣司	安全・防災部会員
環境小委員長	林 嘉人	御厨区長・元環美連会長
環境副委員長	坂口 政幸	NPO 法人夢テラス川中島理事・ JAグリーン長野理事
環境副委員長	本道多加子	前環境部会長
環 境	清水 正俊	元環美連会長
環 境	白澤 孝行	川中島地区住自協会会長
環 境	松橋 実	環境部会員
教育・文化小委員長	増田 秀晃	川中島町公民館長
教育・文化副委員長	井上恵美子	公民館運営委員
教育・文化副委員長	平栗美保子	前民生児童委員会会長
教育・文化	北澤 竜二	長野保健医療大学事務局長
教育・文化	須野原 捷	川中島文芸協会会長
教育・文化	吉村 省吾	信州子どもと文化代表
オブザーバー	北澤 誠	前川中島地区住自協会会長 川中島町まちづくり組織検討委員長
オブザーバー	小泉 博司	川中島地区住自協会会長
	金児 末太郎	事務局長
	二本松 伸子	事務局

川中島地区住民自治協議会組織見直し検討委員会名簿

役 職	氏 名	所 属
委員長	北澤 誠	元住自協会長
副委員長	林部 勇雄	元住自協会長
副委員長	大矢 寛文	元区長会長
委 員	田原 幸雄	元住自協会長 川中島町まちづくり計画策定委員長
委 員	高砂 潔	住自協副会長
委 員	小泉 博司	前住自協副会長
委 員	白澤 孝行	住自協会長
委 員	林 嘉人	住自協副会長
委 員	田島修太郎	青少年連絡協議会会長
委 員	清水 敏	川中島地区社協副会長
委 員	坂口 智弘	前川中島地区社協会長
委 員	村田 稔	健康・福祉部会長
委 員	浅田 栄蔵	安全・防災部会長
委 員	本道多加子	前環境部会長
事 務 局	金児末太郎	事務局長
事 務 局	二本松 伸子	事務局職員



あ と が き

私たち、川中島町住民自治協議会は、平成29年度に組織設立から丸10年を迎えることから、それまでの活動や取組を振り返り、その成果と反省のもとに、5年先、10年先の川中島町の望ましい姿を展望して「新たなまちづくり計画」の策定に取り組むこととしました。

そして、平成29年10月「川中島町まちづくり計画策定委員会」を設置し、以後3年度を掛けて、その策定に当たって参りました。

まず初めに、地域住民の皆様が一番近い所で活動いただいている役員（組長・班長等）の皆様が、住民自治協議会という「組織」、実施している「活動」や「行事」について、どの程度知っており、その活動や行事に自ら参画したことがあるのかをアンケート調査し、その現状把握することから始めました。

また、川中島町の将来を担う中学生・高校生（長野南高等学校の川中島出身者）の皆様にもご協力をいただき、アンケートにより「川中島町の現状」についてどう思い、どう考えているのかをお聴きしました。

委員会は、毎月1回のペースで開催するとともに、5分野（産業振興、健康福祉、安全防災、環境、教育文化）の小委員会を設け、委員は住民の皆様にも参画いただけるよう公募で募り、専門的に議論・検討していただきました。

このたび策定した「川中島町まちづくり計画」は、これまでの「福祉の町川中島」の取組みを更に強化・充実させるとともに、近年、全国各地で多発している自然災害など大きな災害が発生しても、住民の皆様の「命と安全」が守れるよう「防災に強い町川中島」をもう一つの柱として、防災活動の強化に取り組むことといたしました。

この「まちづくり計画」は、多くの委員の皆様のご英知とご努力により出来上がりましたが、まだまだ、不十分な点や検討不足なところも多くあろうかとは思いますが、

また、まちづくり計画は、毎年度の事業計画を策定していく上での一つの指針であり、時代や環境の変化により当然見直して行くものでもあります。

計画の実施に当たっては、それぞれの地域ごとに歴史や課題も異なることから画一的に取り組むことなく、地域事情等を考慮しつつ柔軟かつ応変な対応をしていただければと思う次第です。

さらには、少子・高齢化が急速に進む中で、地域コミュニティ（ご近所付き合いなどの人と人とのつながり）をどう再構築し、“地域共生力”を高めて行くかが、これからの住民自治協議会の果たす大きな役割となって参ります。

この「まちづくり計画」が、子どもからお年寄りまで、「川中島町に住んで良かった」と思っていたかのような「まちづくり」に役立てていただければ幸いです。

結びに、本計画の策定に当たり、ご支援・ご協力をいただきました川中島町の皆様、そして、3年間という長きにわたり、策定委員としてご意見・ご助言を賜りました皆様にご心から感謝を申し上げます。

令和2年4月吉日

川中島町まちづくり計画策定委員会
委員長 田原幸雄

川中島町まちづくり計画〈令和2年度～令和6年度〉

編集 川中島町まちづくり計画策定委員会

発行 川中島町住民自治協議会
〒381-2226 長野市川中島町今井1762-1
電話：026-405-5871
